

## 別紙（参考）「まちなかミマモルメ」の概要

株式会社ミマモルメが、登下校メール（導入校：約1,400校、約28万人が利用）のノウハウを活かし、これまでの校門・塾・高齢者施設・マンションだけでなく、「まちなか」に利用シーンを展開させたものが「まちなかミマモルメ」です。これまでのメールのみのお知らせから、新たに、アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知が加わり、お子さまや高齢者の居場所を把握することができます。

BLE（Bluetooth Low Energy）を用いているため、スマホでも読取り可能で、各自治体でのボランティア活動にもご利用いただけます。

また、その利用の簡便性が故に存在するBLEのセキュリティの脆弱性に対して、独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが「まちなかミマモルメ」の最大の特長です。

2016年3月に伊丹市、同年4月に長岡京市、2017年9月に大東市、2020年4月に木曽岬町で導入を果たし、多数のユーザーの方々から好評を博しております。

### ■「まちなかミマモルメ」利用イメージ

#### ● 発信器

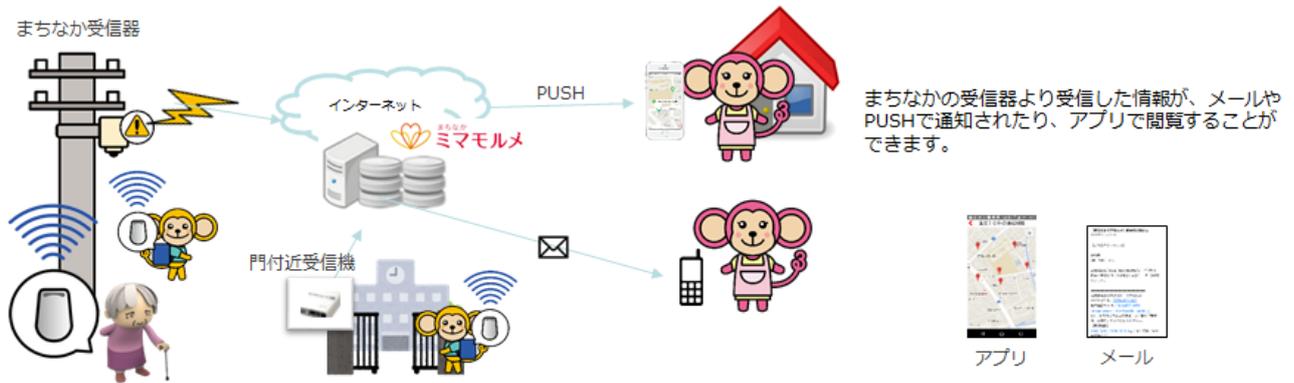


#### ● 受信器



小型・軽量  
独自セキュリティ組み込み

発信器を持った高齢者や子どもがまちなかや学校の門に設置されたビーコン受信器付近を通過することにより、メール通知またはPUSH通知にてお知らせします。



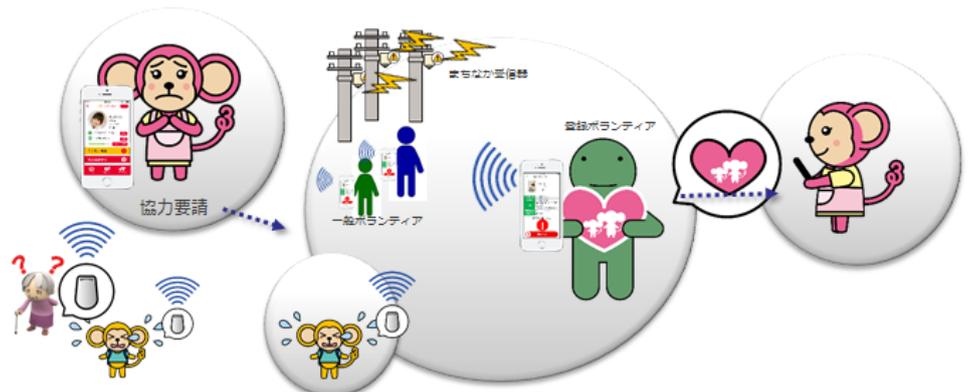
万が一ご家族が迷子になられた場合は、迷子の方の情報をボランティアへ送信し、捜索に協力のお願いができます。

#### 一般ボランティア

協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。アプリをダウンロードすることで一般ボランティアになることができます。

#### 登録ボランティア

事前に自治体等への登録が必要になります。協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。迷子の方の情報を受け取ることができ、迷子の方の発信器を受信した場合は、協力要請者へ電話でお知らせすることができます。（\*1）登録ボランティアを利用する場合は、ID//パスワードが必要になります。（\*1）協力要請者が電話番号を公開した場合



固定受信器の設置されていないところでも… → 通りかかった市バスや公用車がタグを検知！

